



# 平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 チヨダ  
コード番号 8185 URL <http://www.chivodagr.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 舟橋 浩司  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 成田 裕

TEL 03-3316-4134

四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年11月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	110,576	△2.4	8,186	△14.1	8,480	△16.3	4,492	△13.9
25年2月期第3四半期	113,295	△1.9	9,528	14.2	10,133	15.2	5,215	47.9

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 5,810百万円 (△1.8%) 25年2月期第3四半期 5,916百万円 (76.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	113.78	113.52
25年2月期第3四半期	131.31	131.09

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第3四半期	136,588	81,652	55.2	1,908.35
25年2月期	132,868	78,658	54.4	1,831.05

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 75,359百万円 25年2月期 72,296百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	25.00	—	35.00	60.00
26年2月期	—	30.00	—		
26年2月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	151,454	0.8	12,004	△2.5	12,546	△4.3	6,668	△6.7	168.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期3Q	41,609,996 株	25年2月期	41,609,996 株
② 期末自己株式数	26年2月期3Q	2,120,656 株	25年2月期	2,126,267 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期3Q	39,488,661 株	25年2月期3Q	39,720,559 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成26年2月期の個別業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	110,500	2.0	11,000	8.4	6,500	14.8	164	62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	9
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
4. 補足情報 .....	10
(1) 個別経営成績(累計) .....	10
(2) 個別財政状態 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の我が国経済は、政府の経済政策及び日銀の金融緩和策により、円安傾向が顕在化し、輸出企業を中心に収益の改善・株価の上昇がみられたものの、米国の債務問題や中国をはじめとする新興国の経済の停滞など、景気の先行きは不透明で推移いたしました。

それに加えて、消費税増税を前に耐久消費財が消費を牽引している状況は、内需依存型で非耐久消費財を販売している当社グループにおいて極めて厳しい環境と言わざるを得ず、当第3四半期連結累計期間の売上高は減収となりました。

収益面におきましては、P B（プライベートブランド）及びN P B（ナショナルプライベートブランド）戦略の推進による粗利益率の向上、販管費のコントロール、慎重な出店戦略と不採算店の退店などに注力するとともに、㈱チヨダ単体においては人事事務の東西統合による本社一元化、中四国営業所の廃止による組織の合理化をいたしました。が、施策効果が現れるには多少の時間を要することもあり、減収を補うに至らず当社グループの当第3四半期連結累計期間は減益となりました。

当第3四半期連結累計期間の出退店は、出店69店、退店38店を実施し、当第3四半期連結会計期間末店舗数は、靴事業1,164店（前年同期比13店増）、衣料品事業486店（同3店増）の合計1,650店（同16店増）となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高110,576百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益8,186百万円（同14.1%減）、経常利益8,480百万円（同16.3%減）、四半期純利益4,492百万円（同13.9%減）となりました。

セグメント別の業績の概要は次のとおりであります。

#### <靴事業>

当第3四半期連結累計期間における靴事業は、P B戦略による販売単価の上昇と、ソックス及び靴クリームなどの付属品の販売増加が牽引して、客単価は上半期に引き続き当第3四半期連結会計期間も前年同期を上回り、1.9ポイント増加いたしました。一方、天候不順の影響などにより客数が3.1ポイント減少、売場改革を業態別に推し進めておりますが、効果が顕現化するには時間を要することもあり、当第3四半期連結累計期間の売上高は減収となりました。

商品面におきましては、お客様のニーズに応える高機能なP B商品の開発を引き続き行ってまいりました。紳士靴部門では、5月に本革製品でありながら税込価格を4,990円に抑え、履き心地と軽さを重点においた「ハイドロテック・ウルトラライト」を発売し大好評を得て、半年を経過した今も堅調に推移しております。婦人靴部門におきましては、「セダークレスト」から防水機能パンプスとして販売している「セダークレスト キャリアビュート」が雨の日でも安心と昨年に続き好評を得ました。また、この春「ハイドロテック」よりレディース・ウォーキングとして「防水」「防滑」機能に加え、「消臭」「抗菌」など多機能高品質商品でかつ本革製品の「ハイドロテック・ファム」を新たに発売いたしました結果、お客様の支持を集め売上を牽引いたしました。スニーカー部門では、「セダークレスト ダブルフェイス」が好評を得ました。

販売施策におきましては、9月に業態別TVCMを初めて全国統一で実施するとともに、全店に導入したTVモニターと連動し店頭活性化を図りました。また、若年層女性向けのフリーマガジン「Shutte（シュッテ）」を3月と9月に店頭にて配布し、アクティブシニアの女性向け「美」と「健康」のライフスタイル情報誌「You-Ho! 遊・歩・楽（ゆうほら）」を10月にリニューアル創刊し、女性客拡大に貢献しました。来店施策として積極的かつ機動的にメルマガの情報発信を行った結果、11月にはメルマガ会員数が400万人を突破いたしました。今後も販売施策として有効にメルマガの配信を行ってまいります。

その結果、P B及びN P B等のシェアは前年同期と比較して6ポイント増の約42%となりました。

また、お客様に安心して履いていただくことにこだわり、靴の商品開発を始めて10周年を記念し、太陽をモチーフとした新イメージの企業広告を日経新聞全国版に掲載して、20代を筆頭に若年層社会人の認知度がアップいたしました。

粗利益率は、P B及びN P Bのシェアの増加等により前年同期と比較して上昇いたしました。経費面では、靴チヨダ（約50坪規模）の出店が9店（前年同期11店）と減少する一方、シュープラザ（約150坪規模）の出店が16店（同5店）と増加していることもあり前年同期と比較して微増となりましたが、経費コントロールに注力した結果、計画に対しては微減となっております。この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、前年同期と比較して若干下回り微減益となりました。

当第3四半期連結累計期間の出退店は、シュープラザ、東京靴流通センターを中心として出店40店、退店19店を実施し、当第3四半期連結会計期間末店舗数は1,164店（前年同期比13店増）となりました。

この結果、売上高は83,877百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

<衣料品事業>

当第3四半期連結累計期間における衣料品事業の売上高は、春は寒気の影響により低温となった日が多く、夏は平年より高温となり各地で猛暑が続き、9月から11月上旬にかけては例年より気温が高くなるなど天候不順の影響を強く受けたことにより減収となりました。

商品面におきましては、吸汗速乾、抗菌防臭などの夏機能素材「SA・RA・RI Cool」を使用した商品や、日用品メーカーの衣料用柔軟仕上げ剤の香りがするレディースウェアを発売するなど、話題性のある商品開発を実施し、秋冬は保温効果の蓄熱機能素材「MAC HEAT」を使用した商品を展開してお客様のニーズに応える品揃えに取り組みました。

販売施策におきましては、昨年好調に推移したナノプラチナコロイド配合の「ナノプラチナデニム」、伸縮性に優れた新感覚デニム「RUN DENIM」や、保温保湿効果に優れたスキニーパンツ「魔法の美脚」のTVCMをそれぞれ放映するとともに、軽量で暖かい「ライトキルトジャケット」を新聞広告掲載いたしました。また、フリーマガジン「nana STYLE」を引き続き発行し、毎月15日・16日を「シルバーデー」として60歳以上のお客様に割引販売を継続実施したほか、モバイル会員への情報発信など継続的に販売促進策を実施いたしました。

粗利益率は、PB及びNPBのシェアが約51%（前年同期比9ポイント増）に増加いたしました。0.7ポイント減の48.0%となりました。その結果、当第3四半期連結累計期間は、営業利益900百万円（前年同期比52.3%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間の出退店は、出店29店、退店19店を実施し、当第3四半期連結会計期間末店舗数は486店（前年同期比3店増）となりました。

この結果、売上高は26,699百万円（前年同期比5.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における当社グループの総資産は、136,588百万円（前連結会計年度末比3,720百万円増）となりました。

流動資産は、89,836百万円（前連結会計年度末比3,242百万円増）となっております。これは、主として現金及び預金が50,073百万円（前連結会計年度末比4,939百万円減）、受取手形及び売掛金が4,157百万円（同2,353百万円増）、商品が33,347百万円（同5,928百万円増）となったことによるものであります。

固定資産は、46,752百万円（前連結会計年度末比478百万円増）となっております。これは、主として投資有価証券が7,501百万円（前連結会計年度末比1,847百万円増）、繰延税金資産が3,146百万円（同717百万円減）となったことによるものであります。

(負債の状況)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、54,936百万円（前連結会計年度末比726百万円増）となりました。

流動負債は、40,229百万円（前連結会計年度末比1,127百万円増）となっております。これは、主として支払手形及び買掛金が17,961百万円（前連結会計年度末比7,608百万円減）、電子記録債務が11,457百万円（同11,457百万円増）、未払法人税等が619百万円（同2,958百万円減）となったことによるものであります。

固定負債は、14,707百万円（前連結会計年度末比400百万円減）となっております。これは、主として長期借入金が1,502百万円（前連結会計年度末比116百万円減）、退職給付引当金が8,816百万円（同233百万円増）、長期リース資産減損勘定が87百万円（同229百万円減）となったことによるものであります。

(純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、81,652百万円（前連結会計年度末比2,993百万円増）となりました。これは、主として利益剰余金が62,050百万円（前連結会計年度末比1,924百万円増）となったことによるものであります。自己資本比率は55.2%（前連結会計年度末比0.8ポイント増）となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期におきましては、米国の債務問題や中国をはじめとする新興国の経済の停滞、欧州の債務危機問題や中東情勢による世界的な景気減速への懸念が消えないなか、国内では消費税増税、電気料の値上げ、雇用不安など問題が山積し、先行き不透明な経営環境が依然として続くものと見られます。

このような状況下、当社グループといたしましては主力事業である靴事業では、より一層のPB商品の拡充による粗利益率の向上をさらに確実なものにするべく、商品開発とマスメディアを用いた全国統一型のキャンペーンの拡大を行うほか、経費面におきましてもより効率化を図ってまいります。衣料品事業におきましても粗利益率の向上を図るとともに経費コントロールに注力し、販売の増加が見込めるMDへの転換を図ってまいります。

連結業績予想につきましては、平成25年10月9日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	55,013	50,073
受取手形及び売掛金	1,803	4,157
商品	27,419	33,347
繰延税金資産	828	331
その他	1,542	1,942
貸倒引当金	△13	△16
流動資産合計	86,594	89,836
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,886	5,171
工具、器具及び備品(純額)	525	593
土地	4,352	4,352
リース資産(純額)	477	525
その他(純額)	67	3
有形固定資産合計	10,308	10,647
無形固定資産	3,633	3,671
投資その他の資産		
投資有価証券	5,653	7,501
敷金及び保証金	18,354	17,684
繰延税金資産	3,863	3,146
その他	4,586	4,207
貸倒引当金	△126	△106
投資その他の資産合計	32,331	32,433
固定資産合計	46,274	46,752
資産合計	132,868	136,588
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,569	17,961
電子記録債務	—	11,457
ファクタリング債務	2,810	1,492
短期借入金	740	740
1年内返済予定の長期借入金	977	1,064
リース債務	238	250
未払法人税等	3,577	619
未払消費税等	325	45
賞与引当金	605	138
店舗閉鎖損失引当金	52	38
リース資産減損勘定	267	279
資産除去債務	24	33
その他	3,913	6,107
流動負債合計	39,102	40,229

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,619	1,502
リース債務	321	337
繰延税金負債	40	43
退職給付引当金	8,582	8,816
役員退職慰労引当金	6	7
転貸損失引当金	473	454
長期預り保証金	772	695
長期リース資産減損勘定	317	87
資産除去債務	2,122	2,169
その他	851	593
固定負債合計	15,107	14,707
<b>負債合計</b>		
	54,209	54,936
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	6,893	6,893
資本剰余金	7,489	7,486
利益剰余金	60,126	62,050
自己株式	△3,528	△3,519
株主資本合計	70,980	72,911
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	1,315	2,444
繰延ヘッジ損益	—	3
その他の包括利益累計額合計	1,315	2,448
新株予約権	97	124
少数株主持分	6,264	6,168
純資産合計	78,658	81,652
負債純資産合計	132,868	136,588

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	113,295	110,576
売上原価	57,581	55,822
売上総利益	55,713	54,754
販売費及び一般管理費	46,184	46,568
営業利益	9,528	8,186
営業外収益		
受取利息	66	59
受取配当金	45	48
受取家賃	941	824
その他	461	308
営業外収益合計	1,513	1,241
営業外費用		
支払利息	38	32
不動産賃貸費用	841	753
転貸損失引当金繰入額	18	45
その他	11	115
営業外費用合計	909	947
経常利益	10,133	8,480
特別利益		
固定資産売却益	232	0
投資有価証券売却益	46	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	18	0
受取補償金	—	39
負ののれん発生益	60	—
その他	17	12
特別利益合計	374	51
特別損失		
固定資産除却損	35	24
投資有価証券売却損	2	—
減損損失	134	174
店舗閉鎖損失引当金繰入額	40	29
退職給付制度改定損	241	—
その他	29	13
特別損失合計	482	242

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
税金等調整前四半期純利益	10,025	8,289
法人税、住民税及び事業税	3,779	2,994
法人税等調整額	569	617
法人税等合計	4,349	3,611
少数株主損益調整前四半期純利益	5,676	4,678
少数株主利益	460	185
四半期純利益	5,215	4,492

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,676	4,678
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	239	1,128
繰延ヘッジ損益	—	3
その他の包括利益合計	239	1,132
四半期包括利益	5,916	5,810
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,455	5,625
少数株主に係る四半期包括利益	460	185

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

平成26年2月期第3四半期の個別業績(平成25年3月1日～平成25年11月30日)

(1) 個別経営成績(累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	81,187	△1.4	7,255	△0.9	8,059	0.1	4,847	7.6
25年2月期第3四半期	82,350	△1.4	7,319	11.3	8,050	15.9	4,503	55.6

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年2月期第3四半期	122	76	122	49
25年2月期第3四半期	113	39	113	20

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
26年2月期第3四半期	103,667		66,312		63.9	
25年2月期	99,263		62,871		63.3	

(注) 四半期個別財務諸表は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。